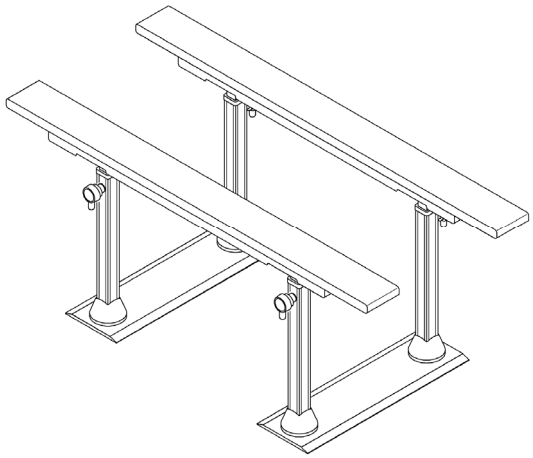
取扱説明書

昇降式平行棒
(支持台)

EXE

SP-380



- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
  正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 「取扱説明書」は
  - 1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
  - 1部を保存用として、大切に保管してください。

SAKAImed

03-046⑤L2

もくじ

✲安全上のご注意…… 3
✲各部の名称…… 5
✲ご使用になる前に …… 6
✲操作方法 …… 6
　高さ調節 …… 6
　幅調節…… 8
✲お手入れの仕方…… 9
✲機器の保守・点検について …… 9
✲保証とアフターサービス…… 10
✲仕　様…… 11

用途

本製品は、歩行障害者の歩行トレーニングを目的とした運動療法機器です。

特長

- 平行板の形状を台板とし、手のひら全体で体を支える平行棒です。
- 高さ調節は、安全性を高めるためガススプリング・アシストにより作業の軽減化を図り、ノブ操作によるピンの挿入としめつけを同時に行える二重固定機構です。
- 支柱をスライドさせ、台板の角度を変えるだけで簡単に幅を調節することができます。
- トレーニング室や廊下等に持ち運びが容易な移動式で幅調節も簡単に行えます。

※安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

使用上の注意

⚠ 警告

ノブについたピンが確実に差し込まれ、ノブがしまっていることを必ず確認
不十分な場合、平行板の高さが変化し、けがをする恐れがあります。

台固定ナットや六角穴付止めネジが確実にしまっていることを必ず確認
不十分な場合、平行板が脱落し、けがをする恐れがあります。

⚠ 注意

機器の改造をしない
故障やけがの原因となります。

故障したら、ただちに使用を中止する
そのまま使用すると、けがをする恐れがあります。

平行板の高さは１ピッチずつ変える
多量を一度に変えると、抵抗が大きくなり支柱が破損する恐れがあります。

ノブのピンが入りにくい時は、平行板を少し上下して調整
無理に押し込むと破損する恐れがあります。

医師や指導者の指示に従って使用
使用を誤るとけがをする恐れがあります。

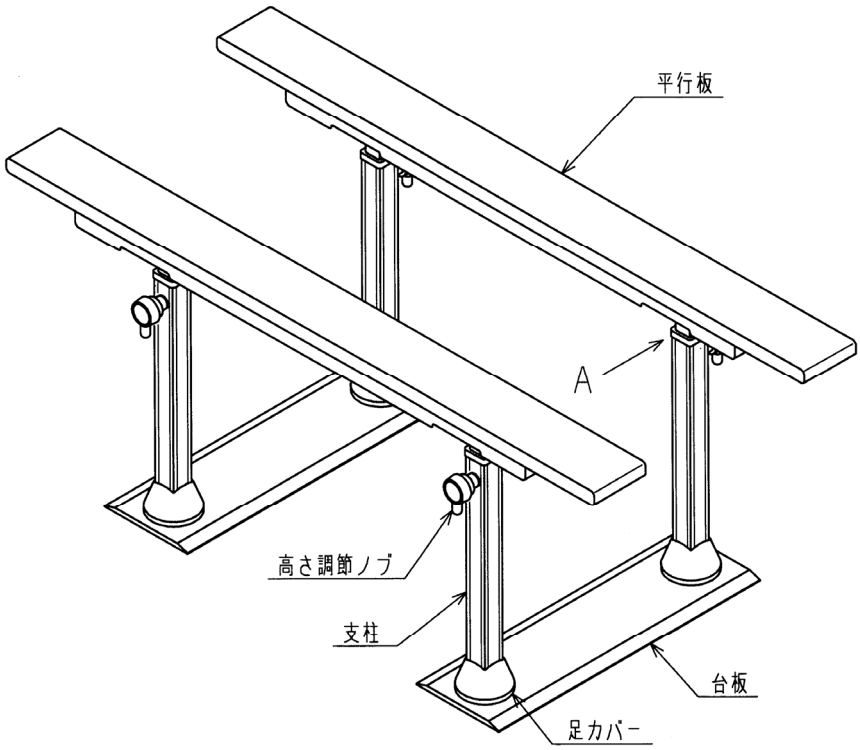
高さ調節する時は、平行板を手で支える
平行板の上に頭や身体を近づけて高さ調節すると、平行板が跳ね上がり、けがをする恐れがあります。

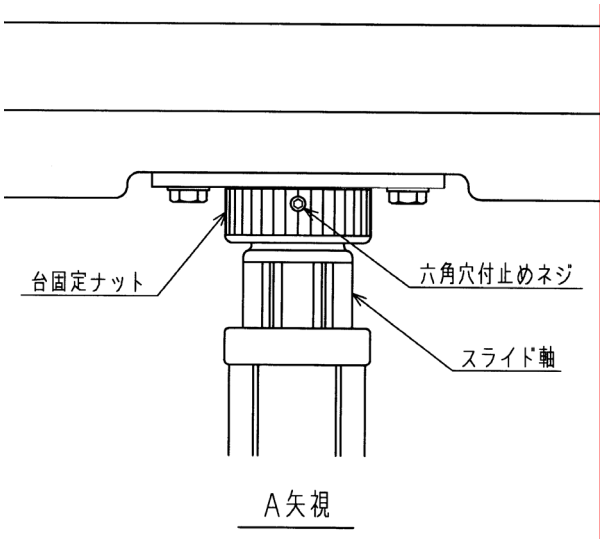
平行板は同じ高さにして使用
斜めの状態で使用すると支柱が破損し、けがをする恐れがあります。

移動や幅調節の際は、必ず支柱を持って移動
平行板を持って移動すると平行板が抜けたり、支柱が伸びてしまい、けがをする恐れがあります。

移動や幅調節の際は、台板に足を挟まないように注意
けがをする恐れがあります。

※各部の名称





❁ 構成

- 昇降式平行棒(支持台)：ＳＰ－３８０　…１式
  - ・平行板　…（２）
  - ・支柱　…（４）
  - ・台板　…（２）

※ご使用になる前に

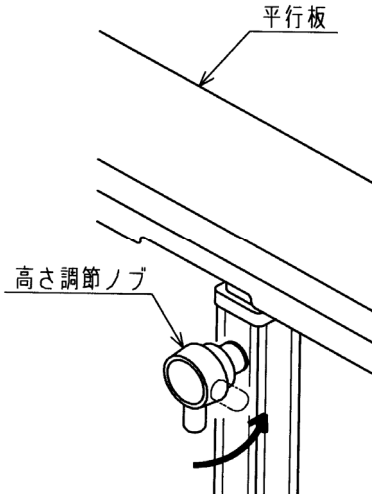
- ご使用前に本製品についてP.9の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。
- それ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。
- 破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

※操作方法

高さ調節

平行板ごとに２本の支柱を交互に調節してください。

1 一方の平行板の高さ調節ノブ２個を「ゆるむ」の方向に90°程度回してゆるめます。

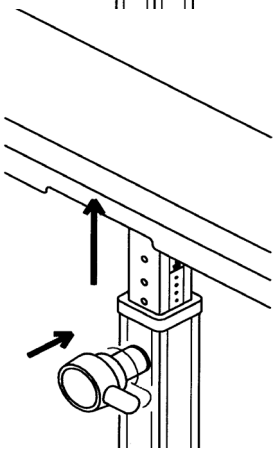


2 平行板を手で支えて、高さ調節ノブを手前に引くとノブについたピンが抜け、平行板の高さ調節ができます。

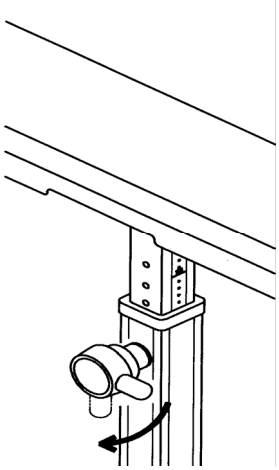
⚠注意　高さ調節する時は、平行板を手で支える

3 平行板の高さを変えると、穴の位置(50㎜ピッチ)でノブのピンが差し込まれ、高さ調節ノブが押し込まれます。

⚠注意
- **平行板の高さは１ピッチずつ変える**
- **ノブのピンが入りにくい時は、平行板を少し上下して調整**



4　もう 1 個の高さ調節ノブを同様に操作して、平行板の高さを揃えます。



5　**2**～**4** を繰り返して平行板の高さが適正になったら、高さ調節ノブ 2 個をそれぞれ「しまる」の方向に回して固定します。

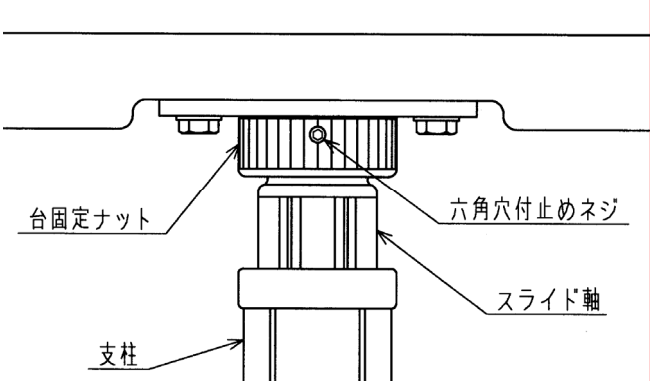
警告　ピンが確実に差し込まれ、ノブがしまっていることを必ず確認

6　次に、もう一方の平行板の高さ調節を **1** から同様に行います。

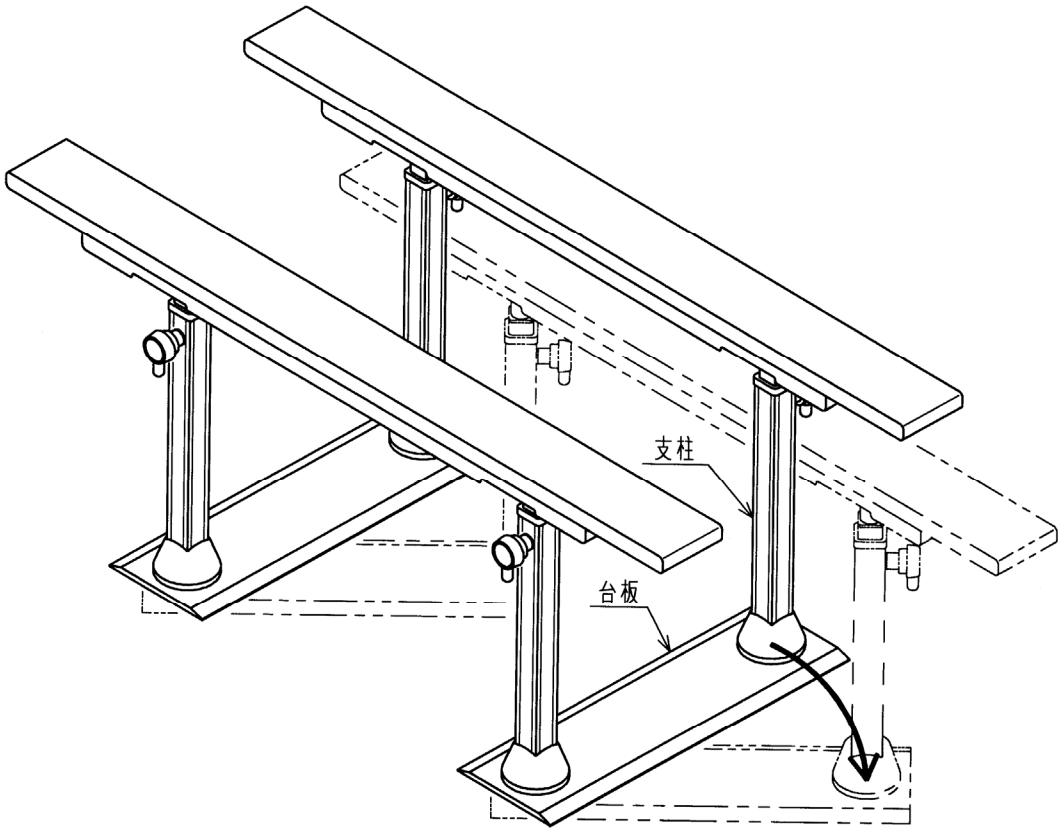
注意　平行板は同じ高さにして使用

幅調節

1 六角穴付止めネジをゆるめ、台固定ナットをゆるめます。



2 支柱をずらして台板の角度を変え、幅を調節します。



3 台固定ナットをしめ、六角穴付止めネジをしめます。

⚠警告　台固定ナットや六角穴付止めネジがしまっていることを必ず確認

⚠注意　・本製品の移動や幅調節の際は、必ず支柱を持って移動
・台板に足を挟まないように注意

※お手入れの仕方

- 汗や汚れはすぐに乾拭きしてください。汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた雑巾を固く絞ってから拭いて、さらに乾いた布で仕上げてください。
- アルコール・シンナー等は使用しないでください。
- タワシや磨き粉入りスポンジは傷つけますので、使用しないでください。

※機器の保守・点検について

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

  （なお清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします）

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	本体の安定性	台板や支柱は傾いていないこと、本体全体にガタつきや不安定がないことを確認
	平行板の高さ、汚れ	目視 高さが水平で、汚れがないことを確認
	部品の損傷	目視
機能	高さ調節ノブの固定	各ノブのピンが確実に差し込まれ、固定されていること、平行板に体重をかけても安全であることを確認
	台固定ナット、 六角穴付止めネジの固定	ナット・ネジが確実に固定されていること、平行板に体重をかけても安全であることを確認

※保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*SP-380*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決してあけたり分解しないでください。

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約 2 年**のもの。

  足カバー / 高さ調節ノブ

- 正常な使用において、交換の目安が**約 3 年**のもの。

  ガススプリング / ピン

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

※仕 様

外形寸法(L×W×H)mm	3500×760×1015
質　　量	約 79 kg
平行板の長さ	3500 mm
平行板の幅	150 mm
平行板の高さ	695～1015 mm (50 mmﾋﾟｯﾁ)
平行板間の幅(内寸)	0～460 mm

注. 都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。